

市内では、今、さまざまな住民主体の自発的なまちづくり活動が生まれています。市もそれに対し、地域の人と一緒に考えながら、本気で、まちづくり活動を支援しています。



●「まちづくり」ってなに？

まちづくりとはなんでしょうか？道路を整備したり、公園を作ったり、身近な生活環境を整えていくことは、まちづくりと言えます。また、地域の人たちでゴミ拾いをすることや、地域内の親ばくを凶るためにイベントを開催することも、まちづくりと言えます。住み良い地域のために行う社会活動すべてがまちづくりです。

●地域の現状に満足していますか？

これまでのまちづくりは、生活環境の整備については、行政が住民の要望を把握したうえで、行政が主体になり、整備をしてきました。また、地域のコミュニティ活動的なことは、地域の人がやってきました。

でも、行政主導で進めるまちづくりが、その地域に住んでいる人たちがイメージする「住み良いまち」に必ずしも一致していなかったり、少子高齢化の進行やコミュニティの希薄化により、これまで住民が主体で行ってきた地域活動ですら、続けていくことが難しくなっています。みなさんは、地域の現状に満足していますか？

●地域のため、地域に住む自分のために

地域を変えていく源は、行政ではなくそこに暮らす人たちの力のはずです。なぜなら、地域を最も知り尽くし、愛着を持っているのは、そこに暮らす人たちなのですから。まちづくりには、生活者の視点が最も大事なのです。

まちづくり活動を行ったことによって住民間のコミュニケーションが生まれ、地域が徐々によくなってきているという声も実際に出ています。地域のため、地域に住む自分のためにまちづくり活動を始めてみませんか？

今回から始まるこのコーナーでは、今、市内で実際に行われている住民主体のまちづくり活動を紹介しながら、市が取り組んでいる新しいまちづくりの形「協働と納得のまちづくり」を考えていきます。

まちかど

ウォッシング

スグッチ登場！

4月12日(火)午前7時50分より、J
R能代駅前にて秋田わか杉国体開催
900日前記念イベントが行われま
した。約60人の
参加があり、ス
グッチモニユメ
ントの除幕式の
後、ポケットテ
イッシュユヤリ
フレットを配布
し、PR活動を
行いました。



いつも元気



仲良く作るぞ!!

(子ども館)

のーろ道遙

歴史と民俗のあいだ

馬の絵(七) 「向能代・稲荷神社(一)」

向能代の稲荷神社にある扁額(へんがく)です。横二メートルを超える大きな額で目立ちます。黒馬・赤馬・白馬の取り合わせは前回説明したとおりです。描かれた馬の数も多く、圧倒されます。

青森県の南部から岩手県の北部にかけて、一戸(いちのへ)から九戸(くのへ)までの町が隣接しています。室町時代に馬の生産地として設定された地域です。そこはまた、やませの吹く地域で一昨年のような冷害をもたらしました。この戸の地域が馬の成育に適した理由はいくつもありますが、

一つはイネ科の植物が生育しやすい黒ボク土が広がっていたことがあげられます。発掘地域の土壌分析で確かめられています。馬の飼料の豊富な草原地帯であったのです。それに加えて、土地の人々は、やませのもたらす塩分が馬にとって大変良かったのでないかと考えています。やませは冷たい海風ですが、草原に濃い塩分がもたらされたといえます。東雲台地も広い草原に

海からの風が塩分を運び、馬の飼料に有効に働いたと思われま。冷害の陰に恵みもあつたのです。(古内)

